

沿岸漁業指導船“ときわ”について

I. 趣 旨

本船は本県の沿岸漁業振興の一環として建造されたもので、その任務は集団操業形態改善事業の指導先達船であり更に沿岸漁業の各種漁場調査漁法試験、海洋調査等を実施するものである。本船の設計及び工事について種々御指導された水産庁漁船研究室長大津義徳氏に対し深甚の謝意を表するものである。

II. 主要項目

以下主要項目、船体一般配置図、事業計画は次の通りである。

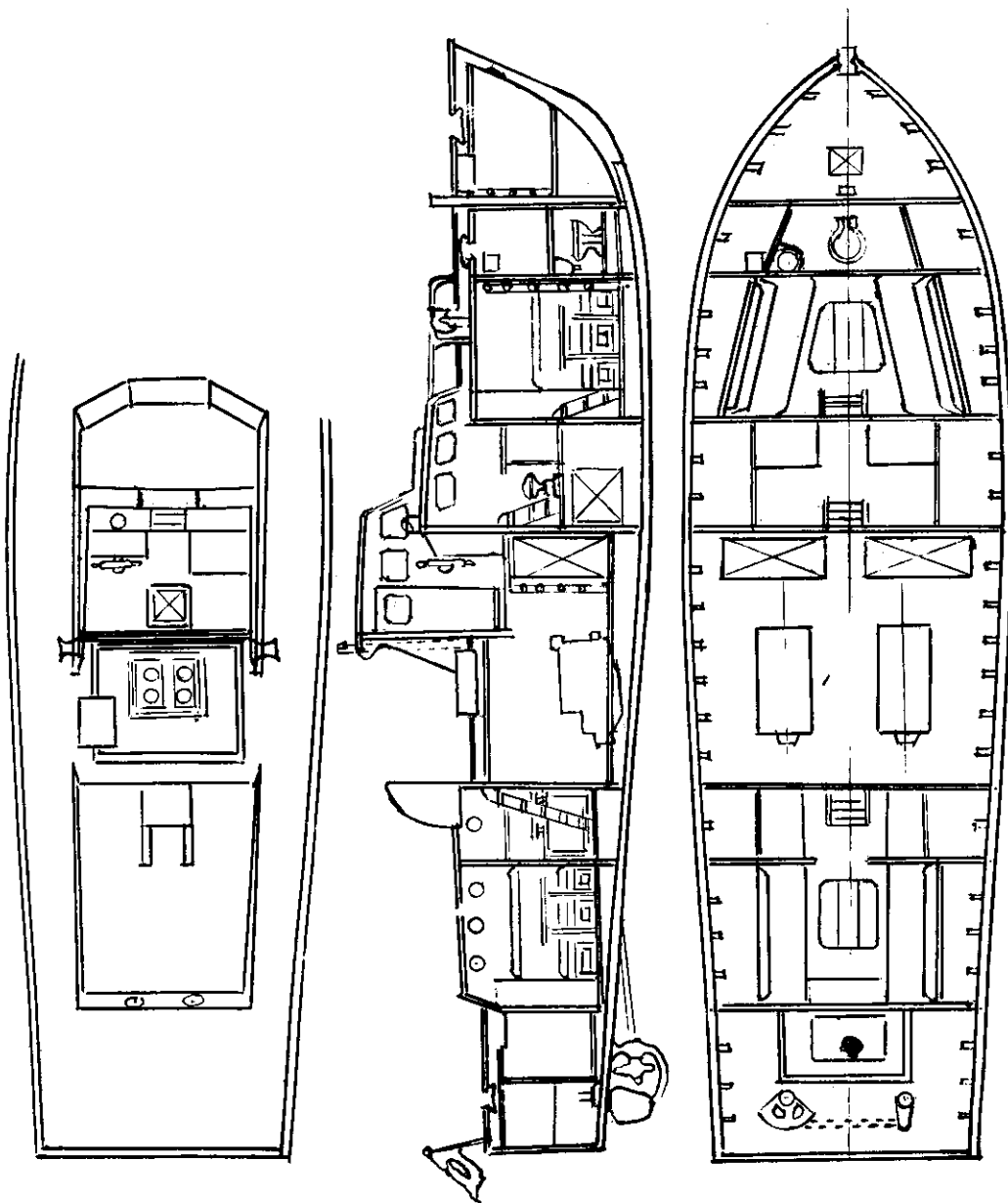
		主 要 目 次	
起工及び竣工	起 工	昭和34年1月10日	竣工 昭和34年3月27日
	船 体	船質及び船型	木製V型(モーターボート型)
	主要寸法	長さ 15.00m	幅 4.15m 深さ 2.07m
	積 量	総トン数 26.25トン	純トン数 9.80トン
	速 力	最強 13ノット	巡航 10ノット
機 関	主 機 械	いすゞ DA120 S-MF 6 R 型船用高速ディーゼル機関(過給機付) 100馬力2基 (船用化東京ボート株式会社)	
	附属発電機	D. C. 24V-1,000W	2基(日興電機工業株式会社)
航海計器	旋 回 窓	直径 300mm	1個(株式会社 国井製作所)
	探 照 灯	室内管制式 D. C. 24V-300W	1個(株式会社 安全電機製作所)
通 信 機	超短波無線電話機	27MC-10W	1台(富士電波工業株式会社)
	“	150MC-3W	1台(日本無線株式会社)
観測機器	音響測深機	主機 PDR-2C 補機 NS-600	1式(株式会社 産 研)
	電動測深機	550m捲	1基(株式会社 鶴見精機工作所)
	流速計	エクマンメツ強流弱流兼用	1台(“)
	自記水深水温記録計	3型 300m ² °C~32°C	1台(“)
	採水器	ナンセン型	1式(“)
	てん倒寒暖計	防圧型	1式(有限会社 吉野計器製作所)
	水中照度計		1台(株式会社 鶴見精機工作所)
	電気測程儀		1台(“)
乗 員	定員	8名	
建 造 者	墨田川造船株式会社		

III. 調査実施計画

“ときわ”による沿岸漁業試験指導事業計画

事業の種類	目 的	調 査 事 項	調査海域時期
集団操業形態改善事業	漁業研究グループが中心 になつて組織している各 地区の小集団が実施する 集団操業形態の中で、そ の指導先達船としての任 務に従事する。	(1) 漁場探索並びに調査 を実施この結果を各小 集団中心船に広報する (2) 各小集団が漁場移動 を必要とする場合この 誘導を行う。 (3) 漁期別の漁海況調査 を実施操業海域を決定す る。	常陸海域全般年間操業計 画にもとづいて実施する

沿岸漁場開発基礎調査漁業試験	小型船漁業を対象とし (1) 沿岸漁獲物の基礎調査 (2) 1本釣刺網等の漁法試験	(1) 未利用魚礁の発見 (2) 天然魚礁の環境要因の調査 (3) 魚礁資源の調査 (4) ブリ刺網漁法試験 (5) 魚群趨光性試験	久慈カガラ周辺 鹿島灘中部6～7月 高戸沖, 小石川周辺 11～12月, 1～2月
海洋観測	(1) 海洋構造の年間変動の解明 (2) 漁業資源の漁獲可能性と産卵補充量の関連性把握	(1) 水温, 透明度, 水色採水, 潮流, 気象条件 (2) 重要魚類の浮游卵稚魚及びプランクトンの採取 (3) 特異現象の発見魚群の観測	大洗正東 25mile と波崎正東 25mile 及び両端を結ぶ4線21測点 毎月中旬
旋網漁場操業事業	科学的装備による魚群操業と漁法指導	(1) 魚群探知器による魚群探索 (2) 流速計による急潮の観測 (3) B. T 及び海洋計器による漁場観測 (4) 探索状況の広報 (5) 漁場図の作成	大洗, 波崎3～4月 久慈, 那珂湊9～10月 大津, 波崎12～1月



船体一般配置图